



## 2024年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2024年5月15日

上場会社名 株式会社グラッドキューブ 上場取引所 東  
コード番号 9561 URL <https://corp.glad-cube.com/>  
代表者（役職名） 代表取締役 CEO（氏名） 金島 弘樹  
問合せ先責任者（役職名） 取締役 CFO（氏名） 西村 美希（TEL） 06-6105-0315  
四半期報告書提出予定日 2024年5月15日 配当支払開始予定日 —  
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
四半期決算説明会開催の有無 : 無

（百万円未満切捨て）

## 1. 2024年12月期第1四半期の業績（2024年1月1日～2024年3月31日）

## （1）経営成績（累計）

（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年12月期第1四半期	431	9.5	△19	—	△21	—	△19	—
2023年12月期第1四半期	394	—	111	—	114	—	73	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年12月期第1四半期	△2.35	—
2023年12月期第1四半期	9.01	8.63

（注）1. 当社は、2022年12月期第1四半期については四半期財務諸表を作成していないため、2023年12月期第1四半期の対前年同四半期増減率は記載しておりません。

2. 2024年12月期第1四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの、1株当たり四半期純損失であるため、記載しておりません。

## （2）財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年12月期第1四半期	3,119	1,359	43.6
2023年12月期	3,224	1,378	42.7

（参考）自己資本 2024年12月期第1四半期 1,358百万円 2023年12月期 1,377百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2024年12月期	—	—	—	—	—
2024年12月期（予想）	—	0.00	—	0.00	0.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2024年12月期の業績予想（2024年1月1日～2024年12月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,847	21.3	△203	—	△214	—	△235	—	△2.88

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年12月期 1 Q	8,217,900株	2023年12月期	8,207,100株
② 期末自己株式数	2024年12月期 1 Q	一株	2023年12月期	一株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年12月期 1 Q	8,212,382株	2023年12月期 1 Q	8,136,000株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（四半期決算補足資料の入手方法）

四半期決算補足説明資料はTDnetで同日開示しております。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期貸借対照表 .....	4
(2) 四半期損益計算書 .....	6
第1四半期累計期間 .....	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(セグメント情報等) .....	8
(重要な後発事象) .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間における我が国経済は、新型コロナウイルス感染症対策の緩和により経済活動の正常化が進んだ一方、円安の進行やウクライナ情勢、イスラエル・パレスチナ情勢等に起因した物価上昇等もあり、景気の先行きは依然として不透明な状況が続いております。

当社が事業領域とする国内インターネット広告市場は、社会のデジタル化を背景に堅調に伸長し、2023年の市場規模は3兆3,330億円（前年比7.8%増）と過去最高を更新いたしました。総広告費におけるインターネット広告の構成比は45.5%を占め、広告市場全体の成長をけん引しております（出所：株式会社電通「2023年日本の広告費」）。また、当社が属するデジタルトランスフォーメーション（以下、「DX」）市場は、生成AI等の飛躍的な技術革新によりDX推進の機運が高まり、市場規模の更なる拡大が見込まれております。

このような経済環境の中、生成AIを活用した新たなプロダクトの開発、サイト解析ツールの機能拡充、動画制作体制の強化、スポーツメディアの更なる顧客満足度向上を目的としたシステム開発・UI/UX改善施策の実施、オンラインセミナーの実施、YouTubeチャンネルでの発信等、拡大を続けるインターネット広告市場とインターネット利用者のニーズに応えるべくソリューションを提供してまいりました。

この結果、当社の当第1四半期累計期間の経営成績は、売上高431,527千円（前期比9.5%増）、営業損失19,316千円（前年同四半期は営業利益111,937千円）、経常損失21,038千円（前年同四半期は経常利益114,879千円）、四半期純損失19,290千円（前年同四半期は四半期純利益73,333千円）となりました。

セグメント別の業績は以下のとおりであります。なお、当第1四半期会計期間から、報告セグメントを変更しております。詳細は、「四半期財務諸表に関する注記事項（セグメント情報等）」に記載のとおりであります。

#### ① マーケティングDX事業

当事業における取り組みとして、営業体制の強化により、既存顧客からの継続的な発注依頼、協業パートナー企業からの案件受注を推し進めております。業務提携先企業への人材派遣ではマーケティング支援を行いながら広告案件依頼に繋げる取り組みができており、広告案件の受注に繋がっております。また、ウェブサイトやランディングページの制作においても、順調に売上が推移したことなどにより、当初売上計画を上回ることとなりました。

この結果、当第1四半期累計期間における売上高は337,475千円、セグメント利益は141,088千円となりました。

#### ② テクノロジー事業

前事業年度に引き続き、SPAIA競馬では、顧客満足度向上を目的としたシステム開発・サービス改善施策を実施したことやシェア獲得を強化し、無料会員数増加を重視したこと、スポーツメディアプラットフォームのSPAIAでは、スポーツデータセンター「DRAGON DATA CENTER（ドラゴンデータセンター）」で多種多様なプロスポーツ及び海外のスポーツデータも取り入れたことにより、SPAIA全体の会員数は127,813人（前年同期比18.2%増）となりました。また、新たなプロダクト開発、AI領域における研究開発及びウェブサービスなどの受託開発も行いました。

この結果、当第1四半期累計期間における売上高は94,052千円、セグメント損失は81,228千円となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### (資産)

当第1四半期会計期間末における資産の残高は3,119,339千円となり、前事業年度末に比べ105,179千円減少いたしました。これは主に長期借入金の返済等による現金及び預金の減少96,569千円、売掛金及び契約資産の減少52,716千円、流動資産のその他の増加34,106千円によるものであります。

#### (負債)

当第1四半期会計期間末における負債の残高は1,760,291千円となり、前事業年度末に比べ86,143千円減少いたしました。これは主に未払金の減少44,012千円、長期借入金の減少52,817千円、未払消費税等の増加13,933千円によるものであります。

(純資産)

当第1四半期会計期間末における純資産の残高は1,359,048千円となり、前事業年度末に比べ19,036千円減少いたしました。これは、四半期純損失の計上による利益剰余金の減少によるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、2024年2月14日の「2023年12月期 決算短信」で公表いたしました通期の業績予想に変更はありません。

## 2. 四半期財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2023年12月31日)	当第1四半期会計期間 (2024年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,738,947	1,642,378
売掛金及び契約資産	602,257	549,541
貯蔵品	149	149
前渡金	159,075	162,801
その他	72,822	106,929
貸倒引当金	△902	△960
流動資産合計	2,572,349	2,460,838
固定資産		
有形固定資産		
建物附属設備	24,278	41,396
減価償却累計額	△8,523	△9,125
建物附属設備(純額)	15,754	32,271
工具、器具及び備品	7,429	7,698
減価償却累計額	△4,226	△4,615
工具、器具及び備品(純額)	3,202	3,083
有形固定資産合計	18,957	35,354
無形固定資産		
ソフトウェア	45,954	43,796
ソフトウェア仮勘定	2,256	8,300
のれん	263,796	249,912
無形固定資産合計	312,007	302,008
投資その他の資産		
投資有価証券	87,204	86,343
長期前払費用	2,242	2,026
繰延税金資産	148,580	151,278
その他	77,680	76,695
投資その他の資産合計	315,708	316,343
固定資産合計	646,673	653,706
繰延資産		
株式交付費	3,943	3,367
社債発行費	1,552	1,426
繰延資産合計	5,495	4,794
資産合計	3,224,518	3,119,339

(単位：千円)

	前事業年度 (2023年12月31日)	当第1四半期会計期間 (2024年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	493,768	488,365
1年内償還予定の社債	40,000	40,000
1年内返済予定の長期借入金	225,347	216,173
未払金	156,827	112,814
未払費用	99,095	111,760
未払消費税等	—	13,933
契約負債	118,548	123,629
その他	33,756	47,339
流動負債合計	1,167,342	1,154,016
固定負債		
社債	100,000	80,000
長期借入金	579,092	526,275
固定負債合計	679,092	606,275
負債合計	1,846,434	1,760,291
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	370,618	370,665
資本剰余金	360,519	360,559
利益剰余金	646,721	627,431
株主資本合計	1,377,860	1,358,655
新株予約権	224	392
純資産合計	1,378,084	1,359,048
負債純資産合計	3,224,518	3,119,339

## (2) 四半期損益計算書

第1四半期累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年3月31日)	当第1四半期累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年3月31日)
売上高	394,098	431,527
売上原価	30,605	85,288
売上総利益	363,493	346,238
販売費及び一般管理費	251,555	365,555
営業利益又は営業損失(△)	111,937	△19,316
営業外収益		
受取利息	10	9
受取手数料	1,881	1,091
受取補償金	—	469
債務勘定整理益	3,794	—
その他	312	24
営業外収益合計	5,999	1,594
営業外費用		
支払利息	930	1,463
投資事業組合運用損	675	721
その他	1,451	1,131
営業外費用合計	3,057	3,316
経常利益又は経常損失(△)	114,879	△21,038
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	114,879	△21,038
法人税、住民税及び事業税	36,461	950
法人税等調整額	5,084	△2,697
法人税等合計	41,546	△1,747
四半期純利益又は四半期純損失(△)	73,333	△19,290



(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

(セグメント情報)

前第1四半期累計期間(自 2023年1月1日 至 2023年3月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期 損益計算書 計上額 (注2)
	マーケティングDX 事業	テクノロジー 事業	計		
売上高					
顧客との契約から生じる収益	365,731	28,367	394,098	—	394,098
その他の収益	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	365,731	28,367	394,098	—	394,098
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	365,731	28,367	394,098	—	394,098
セグメント利益又は損失(△)	222,341	△44,739	177,602	△65,664	111,937

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△65,664千円は、主に各報告セグメントに配分していない一般管理費等の全社費用であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

固定資産に係る重要な減損損失及びのれん等の重要な変動について、該当事項はありません。

当第1四半期累計期間(自 2024年1月1日 至 2024年3月31日 )

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期 損益計算書 計上額 (注2)
	マーケティングDX 事業	テクノロジー 事業	計		
売上高					
顧客との契約から生じる収益	337,475	94,052	431,527	—	431,527
その他の収益	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	337,475	94,052	431,527	—	431,527
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	337,475	94,052	431,527	—	431,527
セグメント利益又は損失(△)	141,088	△81,228	59,860	△79,176	△19,316

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△79,176千円は、主に各報告セグメントに配分していない一般管理費等の全社費用であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

固定資産に係る重要な減損損失及びのれん等の重要な変動について、該当事項はありません。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

事業の柔軟性や対応力を強化する施策の取組みに関する進捗状況や成果等を十分に可視化することを目的として、2024年1月1日付で組織改革を実施しております。具体的には、さらなるクロスセル比率を高め顧客単価の向上を図り高収益の事業へ成長させるべく「マーケティングソリューション事業部」と「SaaS事業部」を統合し「マーケティングDX事業部」としております。また、2023年10月のworkhouse株式会社からの事業譲受により、開発人材が拡充しております。これに伴いSPAIAの開発を加速すること及びスポーツ領域にとどまらず新たな分野における積極的なプロダクト開発やAI領域における研究開発やウェブサービスに関する新たな受託を行うために「SPAIA事業部」の名称を変更し、「テクノロジー事業部」としております。

上記の経営体制の変更に伴い、報告セグメントを前事業年度において「SaaS事業」「マーケティングソリューション事業」「SPAIA事業」の3区分としていたものを、当第1四半期会計期間より、「マーケティングDX事業」「テクノロジー事業」の2区分に変更しております。

なお、前第1四半期累計期間のセグメント情報については、変更後のセグメント区分に基づき作成したものを記載しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。